

令和7年度 西多摩郡公立小学校長会

本校長会は、日の出町・檜原村・奥多摩町の2町1村の小学校6校で構成している。3町村の児童数は6校合わせて約1,070人程だが、面積は約360㎢におよび、東京都のおよそ6分の1を有している。広大な学区域の多くは、山間・丘陵部にあり豊かな自然に囲まれている。このような地域環境の中で本校長会は、教育課題について協議し、課題解決にあたっている。行政は別であるが、相互理解を深め、組織的な連携・協力を大切にしている。

また、各町村教育委員会や多摩教育事務所、西多摩地区の他の校長会との連携強化のために、綿密な連絡を取り合っている。特に各町村教育委員会と校長会との絆は強く、町村の諸課題を、本校長会としても前向きに受け止め、現場の責任者として円滑な教育行政が推進できるよう努めている。

さらに、本地区の特殊性を考慮して、教育格差の是正に努めるとともに、都へき地研の活動にも参加し研究を深めている。

1 校長会の組織

会 長	乙津 秀敏（奥多摩町立古里小学校）
副会長	小原 正弘（日の出町立大久野小学校）
副会長	森田 哲生（日の出町立平井小学校）
庶 務	下川 耕史（檜原村立檜原小学校）
会 計	宮崎 貴仁（日の出町立本宿小学校）
調査研究	小林 亮介（奥多摩町立氷川小学校）
会計監査	小原 正弘（日の出町立大久野小学校）
都幹事	森田 哲生（日の出町立平井小学校）



- 各種活動調査・研究、連合行事、「多摩の子」（西多摩地域作文集）、人権教育、隔遠地校等研究協議会など、すべての校長が、対外的な関係諸機関の担当を分担している。
- 西多摩地区の特色に応じた教育課程の在り方を協議し、各校の実践の参考にしている。
- 働き方改革及び人材育成の在り方を話し合い各地区の現状に合わせた取組を実施する。
- GIGAスクール第2期の推進状況の情報を交換し、各地区の現状に合わせた取組を実施する。

2 特色ある活動

本会は「西多摩郡小学校教育の振興」を目的として、次の活動を行っている。

（1）2町1村の教育委員会と連携した定例会と研修の実施

定例会は日の出町教育センターを中心に、2町1村の役場等の公共施設を使用して開催し、各教育長その他講師の講話による研修を実施し、経営改善に反映させている。

（2）2町1村合同で連合音楽会及び図工展を開催し、児童の発表及び鑑賞の機会を受けている。

（3）隔遠地校の特色ある運営や課題の解決

隔遠地校としての教育振興、教育環境や勤務条件の向上、また隔遠地校等研究協議会との連携に関すること等に取り組んでいる。

（4）会報「対話」の発行

本会当該年度の活動成果や会務報告等を掲載した会報を年度末に発行し、各教育委員会等に報告している。

3 課題

- 西多摩郡の自然や歴史・文化・施設などを活用した特色ある教育や、近隣市町の学校と連・協働した研究活動等をさらに充実・発展させ教員の資質・能力向上を図ること。
- 山間地等の地域性を考慮した、児童の安全対策・防災対策の充実を図ること。
- 特別な支援を要する児童への対応について、予算や人的配置の充実を図る工夫を行い、個に応じた支援を推進していくこと。
- 少子化の加速による学校小規模化の対応と、予算や人的配置における都内他地域との格差の是正を図ること。
- 地域の通信環境整備の遅れを解消し、GIGA端末のネットワーク環境の改善を図ること。